

**こうのす民報**  
議会報告版  
2016年10・11月号 第367号

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団  
竹田えつ子 すわみつえ  
☎542-7072 ☎507-4151  
FAX542-7101 FAX596-9440

# 税金の使われ方をチェック

有利な借金（起債）の7割を交付税参入だからとして、合併特例事業を限度額327億円まで借りて公共事業を進めています。

今後、吹上北新宿に生涯学習センターの建設をはじめ、鴻巣駅東口駅通り地区線道路など大型公共事業が予定されています。



## 増え続ける鴻巣市の 借金（地方債）

鴻巣市議会9月定例会は、9月2日から27日まで開かれました。前年度の決算認定など27の議案について審議しました。

今、安倍政権のもとで、貧困と格差が広がっています。こうした時こそ、地方自治体は、国の悪政の防波堤となり、住民の福祉の増進に努めるのが大切な役割です。

日本共産党はこうした観点から、前年度の予算執行について審議しました。

## 福祉予算削る一方で 基金の積み立てを増やす

消費税は、福祉に使われる増税されたにも関わらず、鴻巣市では、難病患者手当の8割カットを初め、敬老祝い金の半減。前市では、高齢者の窓口負担が2割に。重度心身障がい者・子ども・一人親家庭の医療費食事代の自己負担、介護保険料の10%の値上げ、保育所の時間外保育料の徴収などが昨年度でした。

## 増える借金(普通会計=一般会計、区画整理事業)

	2005年	2015年
鴻巣市全体の借金	312.4億円	520.6億円

## 主な基金積立金(ため込み金)

	2005年	2015年
財政調整基金	11.4億円	26.7億円
減債基金	360万円	12.3億円
合併振興基金	0円	29.8億円
国保支払準備基金	106万円	11.3億円



県内で一番多い約11・3億円の国保の基金をはじめ、鴻巣市には、約96・7億円の基

金があります。  
市民のくらしが変な時こそ、基金を積み立てるのではなく、市民のために使うよう求め、日本共産党は、一般会計をはじめ国保、介護、上下水道会計に反対しました。

## 法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所  
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

2016年10・11月

こうのす民報(議会報告版)

## またもやアネックスビルが雨漏り

8月27日の集中豪雨で、アネックスビル3階のエスカレーター横の窓際にバケツが3個おいてあり、バケツ半分くらい水が溜まっていました。雨漏りの原因と対応について、竹田えつ子議員が質問しました。

市は、雨漏りの原因として、東日本大震災で外壁のコンクリートパネルにひびが入り、そこから雨水が浸透したと考えられる。昨年3月に窓周りをコーティングする修繕を行ったが、完全に改善されておらず、11月をめどに1500万円の費用で東側全面の外壁修繕を行うと答えました。

アネックスビルは、2011年東日本大震災で4階天井の配管が壊れ、映画館や中央図書館が水浸しになりました。

2013年6月7日にも、原因が不明ですが、4階天井から水が流れだし、中央図書館が臨時休館しました。しっかり対策をとってほしいものです。



## 12月定例会日程(予定)

- 11月21日(月) 請願締切(正午)
- 11月25日(金) 本会議
- 11月30日(水) 本会議
- 12月2日(金) 文教福祉常任委員会(竹田議員)
- 12月5日(月) 政策総務常任委員会(すわ議員)
- 12月7日(水) 8日(木) 12日(月) 13日(火) 一般質問
- 12月15日(木) 本会議 討論・採決

ぜひ傍聴をお願いいたします。

地域医療体制の整備に要する経費の財源に充てる目的で基金を創設していく条例案が提出されました。市は埼玉県が策定する第7次医療整備計画を注視しながら取り組む意向です。

総合病院誘致は市民の皆さんへの長年の願いです。しかしながら、市には財調整基金や合併振興基金があり、

これらを用いることで新たな基金を創設する必要はないとの判断し、日本共産党は本会議の採決では、条例案に棄権しました。

安倍政権は、入院病床数を削減していません。このままでは医療難民・介護難民が増えるばかりです。日本共産党は引き続き医療体制充実のために頑張ります。



## 本当がわかる明日が見える

# しんぶん赤旗

- 毎日配達の日刊紙／月3,497円
- 毎週配達の日曜版／月 823円

憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...  
「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。



# 「鴻巣市地域医療体制整備基金条例」案について



竹田えつ子議員

## 安全・安心なまちづくりのために

問 この間の台風や集中豪雨により道路冠水する場所を特定し、安全安心のために市民に知らせることを求めます。

答 防災情報として、過去に道路冠水した主な場所を「内水ハザードマップ」としてホームページに載せていました。(内水ハザードマップ)は集中豪雨で下水道の排水能力が足りず浸水する箇所を示したもの)

## 国道17号線鴻巣警察署前の水たまりの改善を

問 国道17号線鴻巣警察署前の交差点は、自転車レーンも整備されました。その部分が低く雨水がたまる為、車が通る度に水はねし、歩行者も大変です。改善を求めます。

答 北本県土整備事務所が、9月末を目途に、柵を設置し、表面排水が早くできるよう工事を行っています。



すみみつえ議員

## 「小中学校統廃合しないでの声を届ける」

本年8月7日に第3回小中学校適正規模・適正配置審議会が開催され、また第6次総合振興計画審議会においても教育の分野で審議されました。議会では「行政が一方的に進めるものではない」と答弁が繰り返されています。市民の声をどのように聞くのかただしました。

問 市が、小規模校で実践してきた「一人ひとりに行き届いた教育」が、今求められています。小規模校を残し充実・発展させていく考えがありますか。

答 小規模校が悪いとは思っていません。(残すと明確な答弁なし)

問 川里地域の小中一貫教育を、施設併設型一貫校で行うメリット・デメリットは何ですか。

答 メリットは一般的に言われている

## 子どもの教育・医療の拡充 介護サービスの体制整備を

「中一ギャップ解消」「不登校の解消」。デメリットは「学校が遠くなる」「小学校高学年の活躍の場がなくなる」など色々あると思います。

問 専門家の意見を聞くことが重要です。「教育の専門家」「自治会長」の意見を聞くことへの答弁を願います。

答 重要な施策として認識しています。意見交換会は未定ですが、アンケートを笠原地区の就学児童・未就学児童の保護者に10月以降行います。教育の専門家や自治会長から意見を伺って丁寧に取り組んでいきます。

## 制度が変わつても 安心の介護サービスを

問 2017年4月より要支援1、2の方が利用する訪問介護・通所介護が総合事業に変わります。制度が変わつても、高齢者は今までどおりのヘルパーさんやデイサービスを願っています。体制は整っていますか。

答 現在、サービスを提供している「指定事業者」すべてが「みなし指定事業者」として行う確認がでています。

問 引き続き安心介護を求めていきます。

問 多子世帯のみでなく全ての18歳までの子どもに医療費無料を拡大することを求めます。

答 目的は少子化対策・多子世帯対策

## 子育ても老後も安心のまちづくり 税金は市民のくらし・福祉に

## 子育てを応援する鴻巣市に

## 開発事業は 鴻巣市東口駅通り地区

う求めます。

答 「ごみピットには生ごみも入る為、ためおくことはできません。建設検討員会で検討された通り進めています。

問 この間の台風や集中豪雨により道路冠水する場所を特定し、安全安心のために市民に知らせることを求めます。

答 防災情報として、過去に道路冠水した主な場所を「内水ハザードマップ」としてホームページに載せていました。(内水ハザードマップ)は集中豪雨で下水道の排水能力が足りず浸水する箇所を示したもの)

問 保育所給食の主食について補助し、子育てを応援する考えはありますか。

答 3歳以上の子どもは、主食を持参することのない完全給食として提供しています。公立保育所では月1000円、民間保育所では1000円から1600円を保護者に負担をしていただけます。在宅でも食事の費用はかかります。したがって主食費に補助する考えはありません。

問 1日のごみ処理量249tは、2023年の人口ピーク時を基準にしており、人口減少が前提の計画は過大です。この年はごみピットにストックしておくなど工夫して、もつと処理施設を縮小し、後年度に負担を少なくするよ

問 「ごみ焼却施設建設は過大にしないこと

答 権利交換計画の作成にあたり、再度権利者の意向を確認したところ、金体説明会では、事業計画費が70億円から78億円に増えています。増えた要因は何ですか。

問 この地区の事業計画が、どんどん変わっていくこと自体、計画に無理があると思います。8月30日の権利者全体会説明会では、事業計画費が70億円から78億円に増えています。増えた要因は何ですか。

答 権利交換計画の作成にあたり、再度権利者の意向を確認したところ、金額給付を受ける人が増えたため、補償費の増大や労務費の上昇によるものです。

